

HACHI

令和3年6月29日
八代市立第八中学校
学校だより 第8号
文責：校長



Harmony (調和)・Action (行動)・Challenge (挑戦)・Happiness (幸福)・Innovation (創造・革新)

中体連大会 ～勝って反省、負けて感謝～

6月26日(土)、27日(日)は八代中体連大会でした。選手推戴式でも伝えた「やりきる」ことはできたでしょうか。

一日目はサッカー、ソフトテニス、バドミントンの3競技の団体戦が行われました。サッカーとソフトテニスは共に八代中に、男子バドミントンは千丁中に敗れました。女子バドミントンは1回戦の千丁中に勝利しましたが、準々決勝で一中に惜敗でした。自分はサッカー会場の担当でしたが、選手のみなさんは最後まで精一杯プレーをしてくれました。

二日目はソフトテニス、バドミントンの個人戦が行われました。ソフトテニスは2年生の久木田佑奈選手と満山優愛選手のペアが2回戦進出、バドミントンはダブルスの筒井悠介選手と西田陸人選手のペアとシングルの緒方章太郎選手が3位に入賞しました。入賞した3選手はおめでとうございます。



さて、試合には当然勝ち負けがあります。勝つことを目標に試合をするわけですが、その中でたくさんの体験をし、多くのことを学びます。「勝って反省、負けて感謝」という言葉があります。勝ちの中にも反省すべきことがあり、負けることによって教えてもらえることがあります。大会の中では優勝するチームも個人も1つしかありません。その他は必ず負けることになります。大事なことは「負け」から学ばせていただいたことに感謝すること。そして、次につなげていくことだと思います。次の大会に、そして次の取組に学んだことを生かしていきましょう。

地域を学ぶ ～「みやじ学」スタート～

6月22日(火)は「みやじ学」のオリエンテーションが行われました。宮地小学校の5・6年生と第八中学校の1年生が総合的な学習の時間の中で地域について学ぶ取組です。「歴史」「人権」「環境」の3つのテーマ、「妙見宮」「宗覚寺」「解放運動」「共生」「河川調査」「宮地和紙」の6つのコースに分かれて学習を進めていきます。宮地ならではの、とても貴重なプログラムだと思います。この日は講師の先生の紹介や各コースの学習の流れの確認等が行われました。話しをしっかりと聴きながら、丁寧にメモをとっていく姿は「さすが中学生」、1年生もこの3ヶ月で大きく成長してきているなど実感しました。今週木曜日はフィールドワークになります。地域の宝をしっかりと学んで欲しいと思います。



オリエンテーションの様子「宮地和紙コース」

教育事務所訪問 ～学習態度に感心～

6月21日(月)は八代教育事務所から所長はじめ3名の方が来校、学校の様子を見学していかれました。八中生が真剣に授業に臨み、しっかりと学びを深めている姿に感心されていました。先生方も分かる授業のため一生懸命に取り組んでいただいています。今後も八中の教育活動が益々充実していくことを願います。



先週の学校だよりで「過ち(間違ったこと)をしたことを知っていながら改めようとしな。これが本当の過ち(間違い)ですよ。」という孔子さんの言葉について書きました。自分なりに考えて英訳した文も掲載してみました。後で澤村先生に添削していただき、次のようなアドバイスをいただきました。

<添削前> You don't correct your mistakes. This is called a mistake.

<添削後> If you don't correct the mistake, it will be called a mistake.

※仮定の“if”をつけて「もし、過ちを改めなかったら」とする

※未来形の“will”を使って「過ちになるでしょう」とする

なるほど、確かに表現が豊かになります。勉強になりました。有難うございました。

